

アートのエコー当日説明

HOMEWORKS 2023で展示する作品

<https://github.com/novogrammer/echo-of-art>

ステートメント

「アートのエコー」は、映像が会場内を循環する中で、他の作品や鑑賞者からの影響をセンサーを介して受け取り、その映像を絶えず変化させていきます。

各モジュールの役割

モジュールA: カメラから取り込んだ映像をそのまま表示する。

モジュールB: カメラから取り込んだ映像を加算合成する。

モジュールC: マイクから取り込んだ信号に応じた色で映像を反転させる。

モジュールD: 距離センサーで取り込んだ距離に応じて映像を歪ませる。

喋った内容

このフロアに4台のマシンがあります。

モジュールAで撮影した映像をモジュールB、モジュールC、戻ってきてモジュールDと、会場を巡る中で会場の影響を受けて変化していきます。

モジュールDは全ての影響を受けた結果です。

ノードベースプログラミングのノードをコンピューターに置き換えたものです。

制作の動機と経緯

複数のマシンをネットワークで繋いで何かできないかなと考えていた。

動画のストリーミングに各マシンでフィルターをかけられないかと考えていた。

動画のストリーミングはハードルが高そうなのでjpgを連続で送ることにした。

Raspberry Pi 4を使うことにし、WebGLでどうにかできないかと試していたが、あまり速度が出なかったのでOpenCVでフィルターをかけることにした。

今後の発展課題として、動画のストリーミングを行いたい、また、フィルターをGPUで処理することを考えている。